

学校だより

平成30年7月2日

7月号

港区立筭小学校 校長 石井 卓之

反省から次の計画へ

校長 石井 卓之

今週は梅雨の中休みとなっていますが、連日30度近くまで気温が上がり、子供たちには熱中症にならないように、全校朝会で話をしたところです。

さて、学校では先日の運動会の反省を基に、これから次年度の計画を立案していきます。ご家庭からの感想用紙は全校で145枚、ご提出をいただきました。これは本校の家庭数の約37%に当たります。ご協力、本当にありがとうございました。学校では全ての感想用紙を回覧するとともに校内の反省と併せて改善策を検討していきます。

特に多くご指摘をいただいたのが、昼食についてです。時間の短さ、昼食場所に行くまでの混雑、体育館での場所取り、昼食場所の不足など、次年度の最重要課題となっています。一方、観覧のマナーやごみの始末など、保護者の方の見学態度が昨年度よりよかったとの感想も多数ありました。特に高評価だったのは、外国人講師による英語のアナウンスでした。これは次年度以降もさらに工夫をして実施していきます。保護者の方からいただいた学校行事等の反省は毎回計画の修正に生かしていきます。また、お褒めの言葉をいただけることで、学校としての士気が高まります。145枚のご感想一枚一枚を真摯に受け止め、さらにすばらしい運動会となるように、チーム筭で頑張っていきます。

私が副校長をしていた学校での出来事です。ある5年生の男の子が、特別支援教室に4月から通い出しました。その子は教室ではじっとしてられなく、友達の言葉に反応して大声を出してしまったり、時には暴力を振るってしまったりしていました。友達からの評価は低く、すっかり自信を失っていました。

そんなある日その子が私に話しかけてきました。「副校長先生、ぼく、特別支援教室に通うようになって、少し自信が付いてきたんだ。特別支援教室の先生と一対一でどういう場合にどうしたらよいのかを教えてもらったり、自分のペースで勉強したりすると、心にエネルギーが貯まるんだ。そうするとクラスでは、今までより少しだけ落ちつけて、先生にしかられる回数が減ってきたんだよ。本当は、毎日行きたいんだよね。」と。本校の特別支援教室（にこにこ）も、そういう教室です。

生活目標

◆時間を大切にしよう

安全目標

◆水の事故に気を付けよう

生活指導部

“時は金なり”という諺があります。学校は集団生活の場であるので、様々な時間を守るきまりがあります。「守らなければならない」という考えから「時間を守り、上手に使える、自分の時間が増える」とプラスな考え方をして実践すると、子供たち自身のメリットにもなります。その利点を子供たちに教えながら指導していきます。

水泳学習が始まっています。ご家庭でも、生活リズム（特に睡眠や食事）のご配慮をよろしくお願いいたします。